

Hashimoto
Foundation

ミャンマーの送り出し機関の現状分析と 就労先として日本が持続的に選考される要因

ミーモートウーザー

研究員

橋本財団ソシエタス総合研究所



ソシエタス総合研究所
Societas Research Institute

発表内容



ミャンマーの送り出し機関の概要



ミャンマーの軍事クーデターと政策の不安定化と派遣組織への影響



日本で働こうとする若年労働者の意向

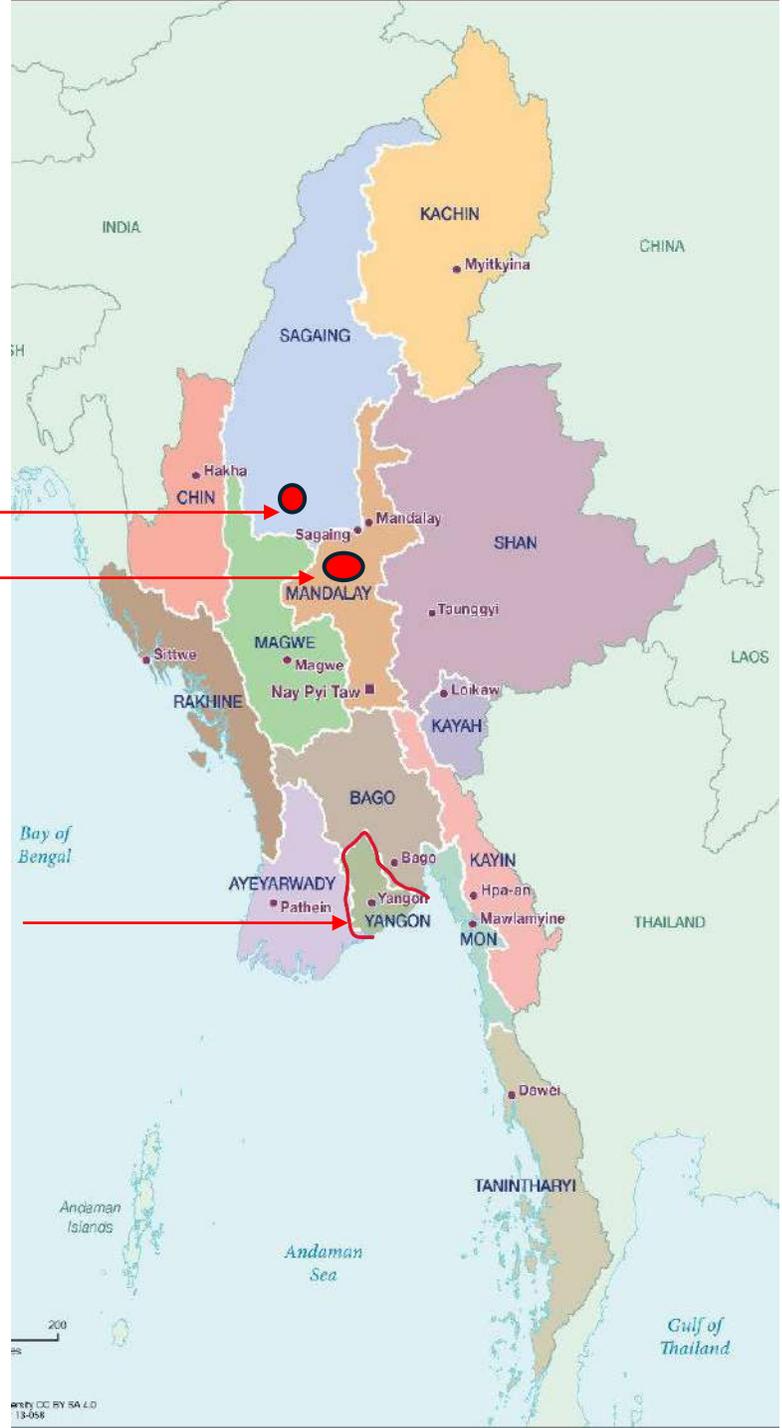


ミャンマーの送り出し 機関 2024年

モンユワ
1 機関

マンダレー
3 機関

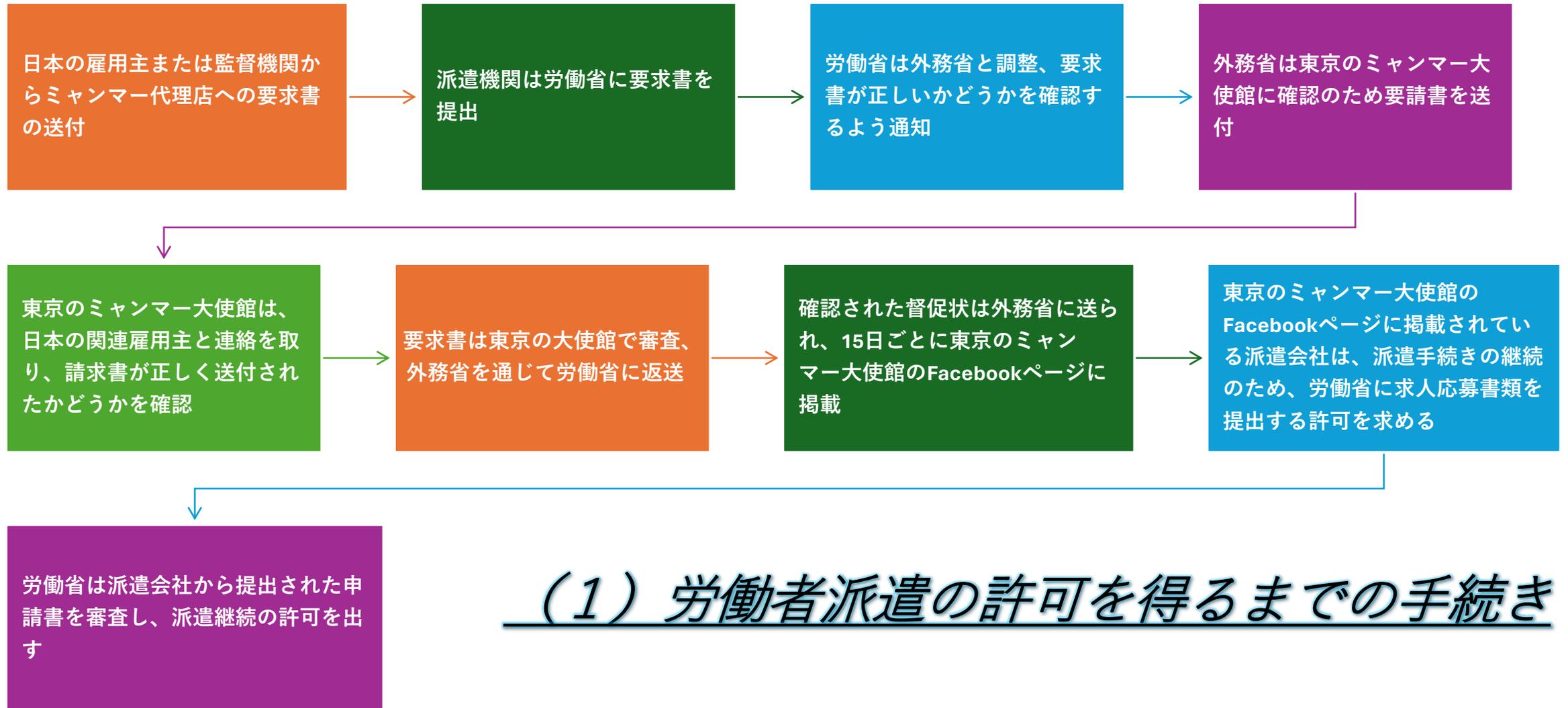
ヤンゴン
425 機関



インタビュー調査

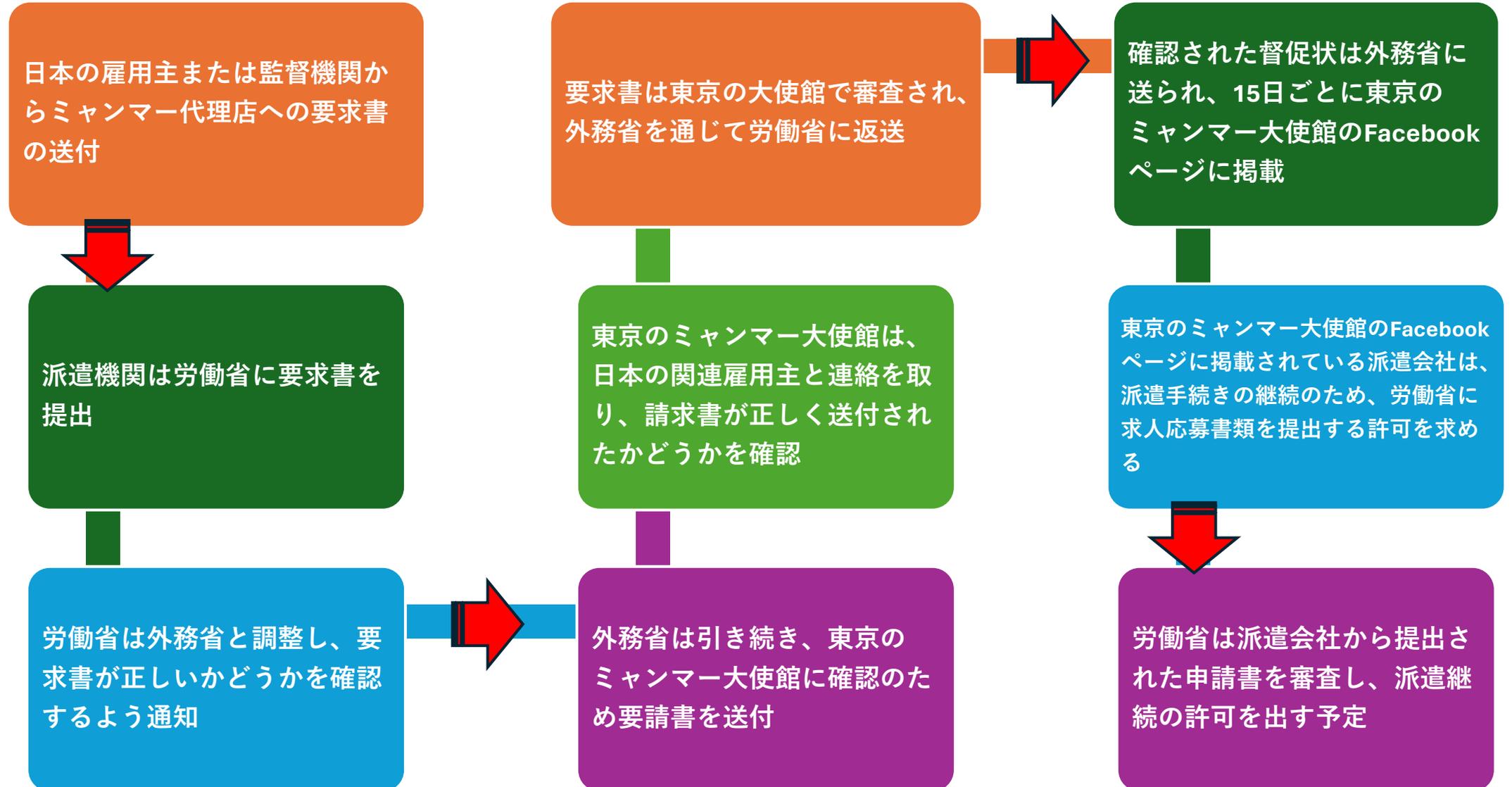
- ✓ モンユワ 1 機関
- ✓ マンダレー 2 機関
- ✓ ヤンゴン 27 機関

ミャンマーからの労働者派遣における必要な手続き 送り出しの手続きのstepが多い



(1) 労働者派遣の許可を得るまでの手続き

(2) 労働者派遣の許可を得た後、送り出すための手続き



他国に労働者を派遣するための手順数とコスト

手順ステップ

- シンガポール：10ステップ
- タイ：12ステップ
- 韓国：14ステップ
- マレーシア：15ステップ
- **日本：17ステップ**

費用

- 高額課税 - 1,400 ドル、低額課税 - 1,700 ドル、S パス - 3,300 ドル
- SSB 会員 - 200 \$、SSB 会員でない - 300 \$
- 基本給の4ヶ月分を超えない
- \$ 850
- **技能実習生- \$ 2800, 特定技能- \$1500**

一人当たりの費用

2021年軍事クーデター前の費用

技能実習生費用

- 2800\$+
- 事前教育費
- 食費
- 寮費
- 仲介料

合計 >> 約 30 万円

特定技能

- 1500\$+
- 事前教育費
- 食費
- 寮費
- 仲介料

合計 >> 約 20 万円

2024年 現在の費用

技能実習生費用

- 2800\$+
- 事前教育費
- 食費
- 寮費
- 仲介料

合計 >> 約 50 万円 - 110 万円

特定技能

- 1500\$+
- 事前教育費
- 食費
- 寮費
- 仲介料

合計 >> 約 30 万円 - 65 万円

重要な理由：インフレの増加、為替レートの低下、長い時間がかかる

軍事クーデターによる政策変更



ミャンマー軍当局が最近発表した政策

日付	内容
2023年9月	海外で働くミャンマー国民の基本給の25%をミャンマーの家族に合法的に送金しなければならないという規則が導入。この要件は、派遣機関と労働者との間の標準的な雇用契約に含まれることとなる。
2024年2月	人民兵役法が施行され、大規模な人口流出が起こる。
2024年4月	海外就労を目的とした男性移民労働者の許可は停止される。
2024年5月	23歳から32歳までの男性には海外での就労を禁じられている が、他の年齢層には就労を目的とした移住の許可が与えられている。
2024年6月	就労パスポート（PJ）から訪問パスポート（PV）への変換を制限する変更が実施。
2024年6月	労働省は、労働者からの給与振込や領収書の記録を提出しない派遣機関は、罰金や営業許可の取り消しを含む強制措置を受けると定める。
2024年6月	2023年9月から2024年4月までの間に労働者を送り出す送出機関は、 当該国の外貨建ての労働者の家族宛送金口座記録を6月上旬までに商務省に提出しなければならない と定める。
2024年6月	海外で働くには、 労働者は海外労働者身分証明書（OWIC）を取得する必要があり、OWICがないと、出国が禁止 となる。

出典：労働省（MOL）およびミャンマーのさまざまな信頼できるソーシャルメディアの文書分析

海外就労研修コースへの参加と (Overseas Workers Identity Card) OWICカードの申請

海外で働き始める人

- ▶ 給与の25%が公式ルートで送金されます
- ▶ 2%の税金を支払います
- ▶ 軍から要請があれば帰国します

休暇で帰国する人

- ▶ 休暇通知書
- ▶ 2%の税金領収書
- ▶ 公式ルートで送金された25%の領収書
- ▶ OWICカードを取得するには、税務署に1年分の税金を支払う必要があります

派遣機関への影響

派遣機関への影響

- ▶労働者派遣数の制限 ▶特に男性労働者
- ▶労働者派遣手続きの増加

課題

- ▶労働者と連絡が取れない
- ▶労働者の中には別の仕事に異動になった人もおり、彼らから書類や情報を入手するのが困難
- ▶法律に従えない場合、ライセンスが取り消されるリスクに直面
- ▶新しいポリシーに従って情報を送信できないため、200を超える派遣機関のライセンスが取り消されました

若い世代への影響

労働者への影響

- ▶ 海外で働くのは難しい
- ▶ 年齢制限

課題

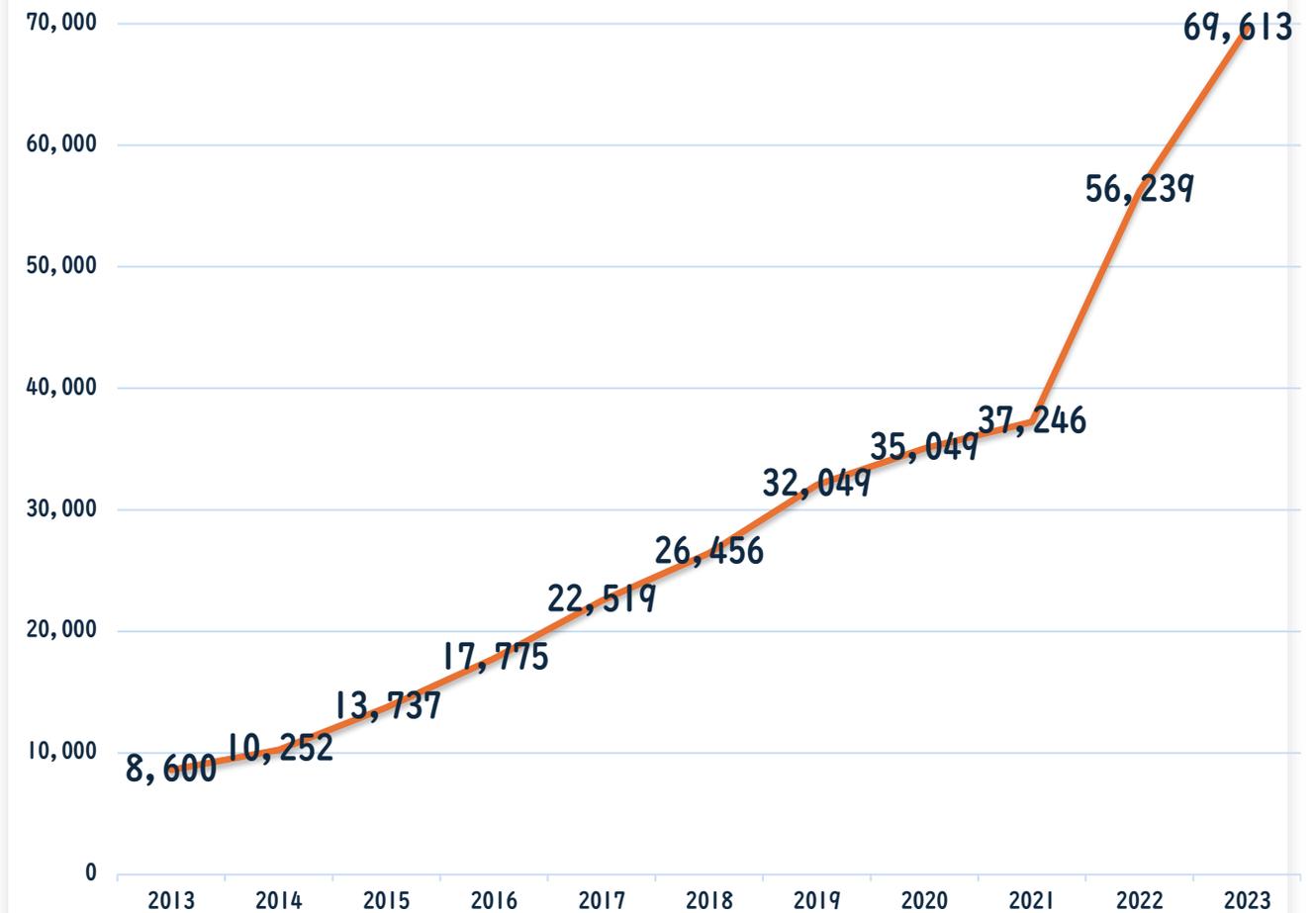
- ▶ 準備に高額な費用がかかる
- ▶ 時間がかかる
- ▶ 偽の派遣会社を利用するリスクがある
- ▶ 出国前に予期せぬリスクがあるので心配

A scenic view of Mount Fuji in the background, a city in the middle ground, and traditional Japanese architecture in the foreground. The mountain is covered in snow and partially obscured by a layer of white clouds. The city below is densely packed with buildings. In the foreground, there are traditional Japanese buildings with red walls and dark, curved roofs. The sky is a clear, bright blue.

引き続き日本を選択しますか？

ミャンマー国民の日本への移住動向

出典：出入国在留管理庁の資料をもとに著者作成



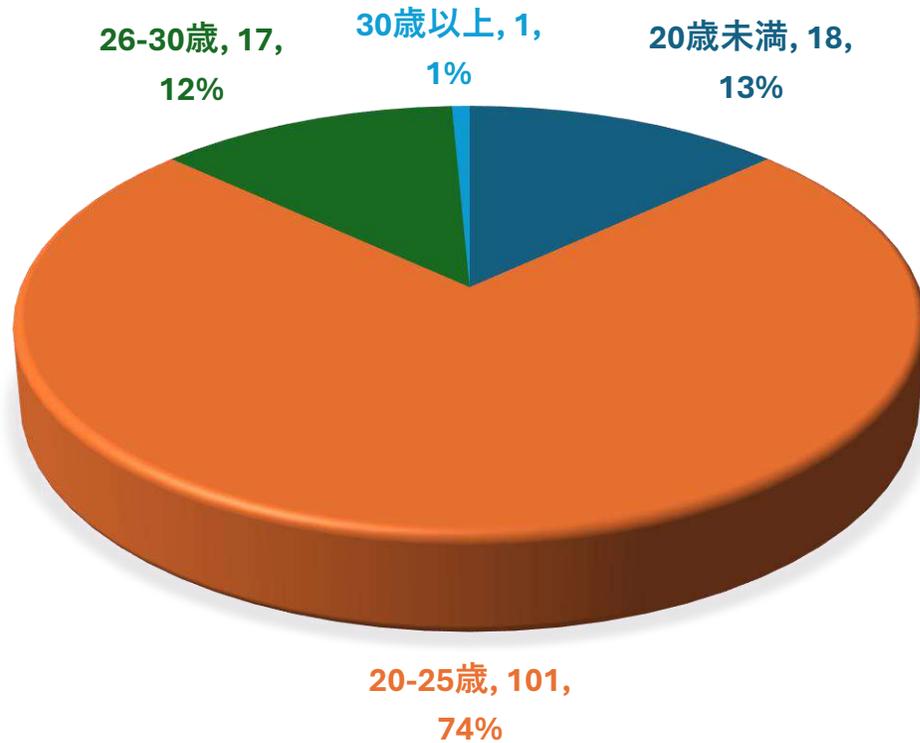
ミャンマー移民数 (在留資格別) (2023年6月末現在)

	移民数	対前年末 増減率 (%)	各カテゴリーの 貢献度 (%)
永住者	2,871	2.61	4.12
技能実習	20,940	22.93	30.08
技術・ 人文知識・ 国際業務	9,526	17.06	13.68
留学	8,876	49.81	12.75
家族滞在	1,797	16.99	2.58
定住者	2,543	1.40	3.65
特定技能	8,016	34.59	11.52
日本人の 配偶者等	662	5.58	0.95
特定活動	13,197	23.26	18.96
その他	1,185	17.33	1.70
総数	69,613	23.78	

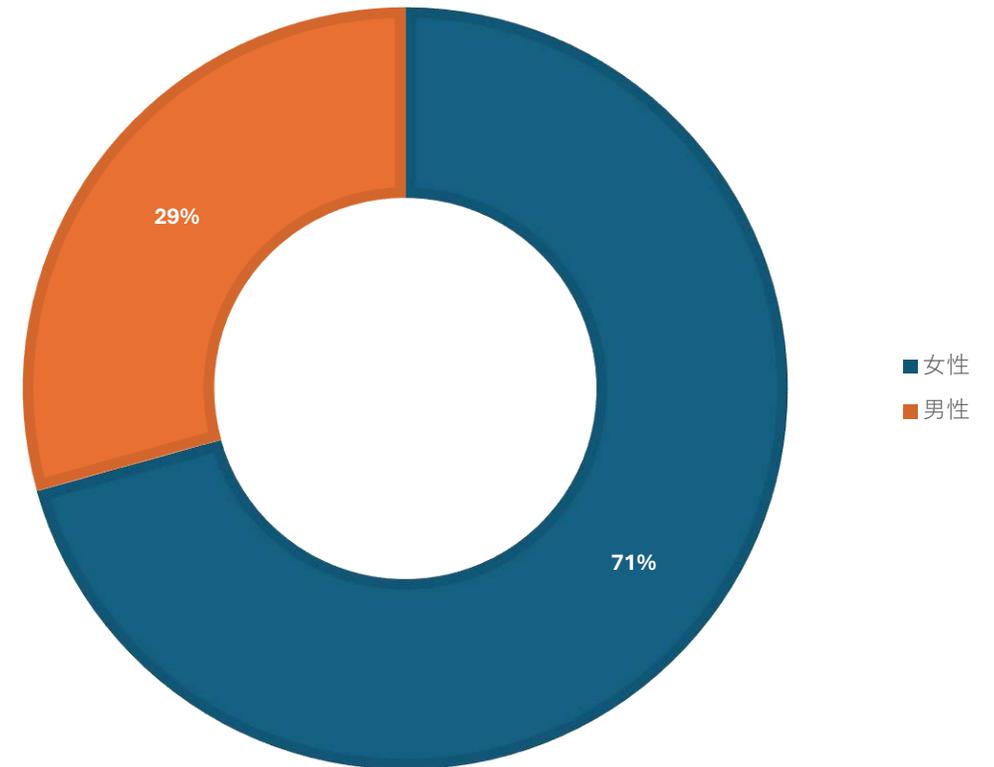
出典：出入国在留管理庁の資料をもと
に著者作成

日本に来ようとしているのはどのような人たちですか？

年齢範囲



性別



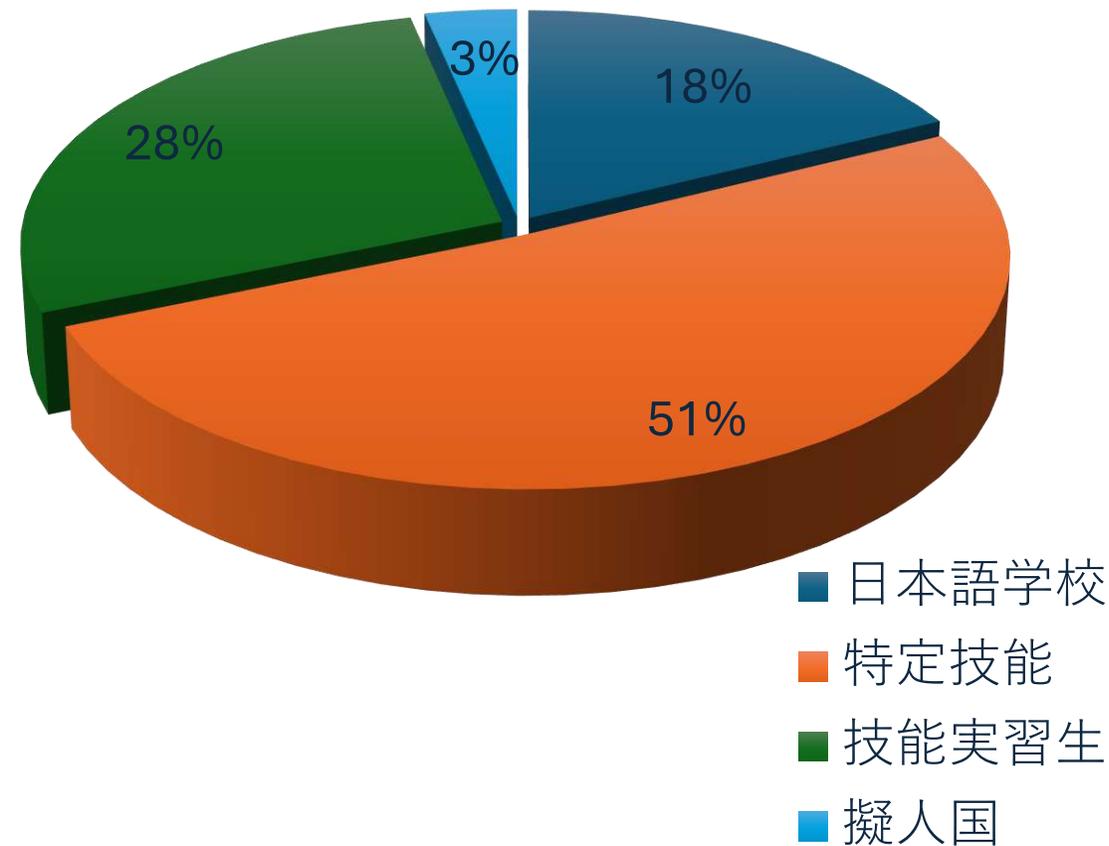
出典：橋本財団による調査（2024年5月から2024年11月まで）

送り出し機関と日本語学校 130人、日本語学校10人、ランダム10人

どの在留資格で 来日準備をしていますか

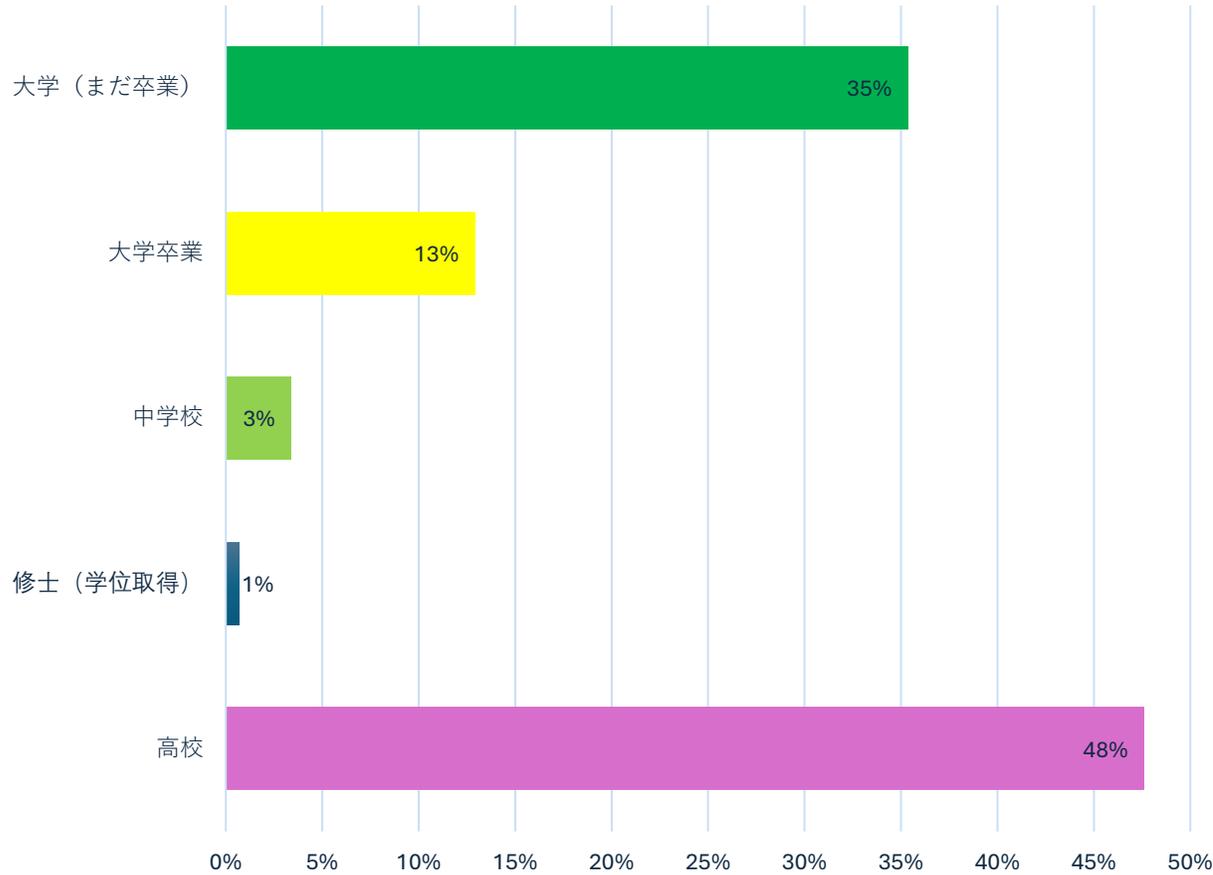
出典：橋本財団による調査（2024
年5月から2024年11月まで）

どの在留資格で来日しますか

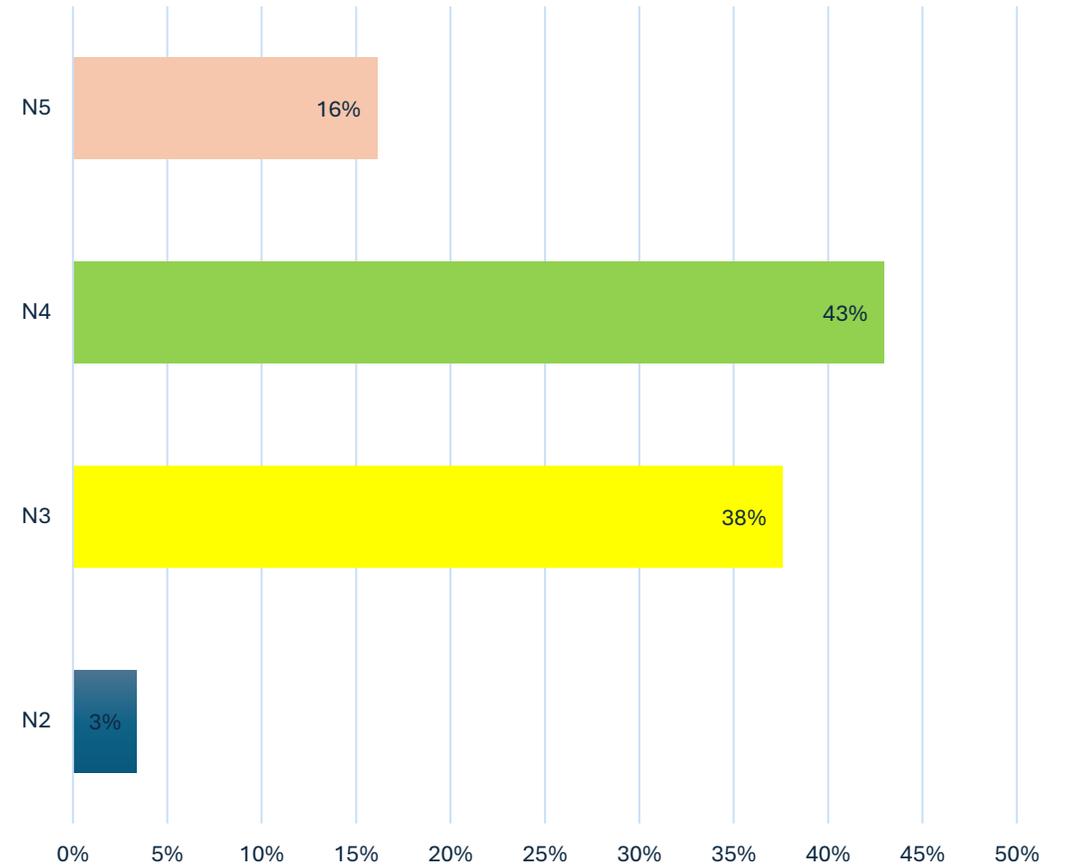


ミャンマーからの来日希望者（潜在的移民）の教育レベル

教育レベル



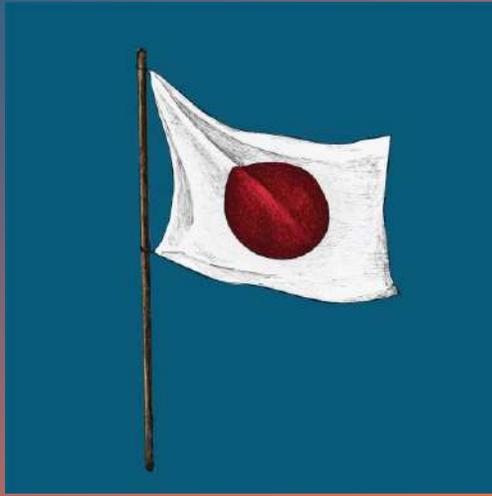
日本語能力レベル



出典：橋本財団による調査（2024年5月から2024年11月まで）

○

+



日本を選び続ける理由

安全と安心

優れた医療と社会サービスが利用可能

給与が高い

就職機会が多い

安定した雇用

日本の先進技術を学び、習得する機会

● ソーシャルメディアの影響

出典：橋本財団による調査（2024年5月から2024年11月まで）



労働者が直面する困難と課題



海外雇用政策における年齢制限



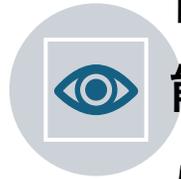
為替レートの下
落によるコスト
高



詐欺的な代理店とブ
ローカー



長期にわたる待
機期間



日本語および特定技
能試験受験機会を得
られない



出発前の政策停止によ
る不確実性



労働者間の激しい競争と日本からの
需要の減少

出典：橋本財団による調査（2024年5月から2024年11月まで）

日本を選んだ主な理由：

- 母国の政治的不安定、日本の経済的繁栄への期待、そして安全で安定した雇用環境

日本の魅力：

- 高い給与、安定した雇用機会、優れた医療、社会保障、そして他国と比べて安全であると認識されていることから、好ましい渡航先として知られている。

魅力ある合法的な移住経路：

- TITP および SSW プログラムによる安全な移住オプションにより、海外でより良い展望を求める若者にとって日本は特に魅力的な国となっている。

労働力の需要と供給のミスマッチ：

- 日本への移住に対する関心は高いものの、日本からの労働力の需要はミャンマーからの労働者の供給に比べて大幅に低い。

若くて意欲的な人々が日本への移住の機会を積極的に探しているが、見つけられる需要は非常に限られている。

まとめ

日本は選ばれ続けられますか？



改善すべき分野と取り組むべき主な課題

日本政府・ミャンマー政府がステップを減らす？

来日コストを下げる？

需要レターオファーの増加？

日本語テストとSSW試験の受験機会の増加？

企業 > ゼロコストか その他 ？

ご清聴ありがとうございました！